

研究課題名	グローバル人材育成を目指した高大連携によるアクティヴ・ラーニングの研究開発						
実施内容・研究成果の要旨 (概要書を別途添付)	本研究は研究代表者が培ってきた高等学校、産業界、および自治体との関係をもとに、高大産が連携してグローバル人材を養成する教育プログラムの開発に取り組むものであった。また、そのプログラムを、我が国の教育において、全面的導入が喫緊の課題となっているアクティヴ・ラーニングのかたちにすることで、本学はもとより本学と提携する高等学校の教育の改善にも資することを目指した。開発したプログラムの実施の場となったのは、8月9日に開催された本学のサマースクールであり、そこで展開されたプログラム開発のために4月12日から8月8日まで、9回、会議を開催した。プログラムの検討は中野、浅羽、永末が行ったが、6月1日には近隣高校の教員の方をお招きし、7月26日と8月8日には、サマースクールでファシリテーターとして働いた本学学生の参加を得て、プログラムについて助言をいただいた。産業界からの示唆のもと講師を選んでサマースクールを開き、その総括とサマースクールの学習を発展させるプログラムの開発に取り組み、9回、会議を行った。こうした発展プログラムの一つとして、グローバル教育の一つの柱である語学教育について、高校に本学学生を引率して高校生に対する英語スピーキング能力向上の取り組みを行い、平成30年度にも引き続き、この高大連携の取り組みを続けることとした。						
事項	使用内訳（単位：千円）						
	合計	備品費	消耗品費	図書費	報酬	その他	旅費交通費
交付決定額	606	34	60	0	133	14	365
支出金額	606	178	42	2	212	4	168
執行残額		-144	18	-2	-79	10	197
共同研究者	所属・職名	氏名		役割分担等			
	外国語学部教授	中野博文		研究代表者 研究の取りまとめ			
	基盤教育センター准教授	浅羽修丈		研究分担者 教育開発			
	基盤教育センター准教授	永末康介		研究分担者 「学び」の具体化			
	北九州市立大学非常勤講師	川上耕平		研究分担者 データの分析			